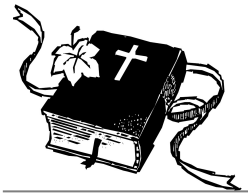

聖書箇所:エペソ6:10-13
「主にあって強くされる」

【1】主の力に頼る

・パウロの勧めの展開
　「歩みなさい」(エペソ 4:1,17,5:2,8,15)から「堅く立つ」(6:11,13)へ
・信仰の歩みには、それを妨げようとする悪しき力との戦いがある
・**「主にあって、その大能の力によって強められなさい」**(6:10)
　―自分で自分を強くするのではなく、主によって強められる（受動態）
　―信仰者の歩みを支える力は、自分の内にではなく、主にある
・**「神のすべての武具を身に着けなさい」**(6:11)
　―兵士が身に着ける完全な装備
　―神が備えてくださる武具であると共に、神自身が身に着けられる武具（イザヤ 59:17）

▶自分の弱さを認め、神がご自身の武具を身に着け、主の力によって堅く立つことです。

【2】本当の敵を見誤らない

・私たちの戦いの相手は誰か？
・パウロは神から引き離そうとする悪しき力の働きを語る
　―神のことばを疑わせる
　―憎しみや分裂を生み出す
　―私たちを神に従う歩みから遠ざけようとする
・人間関係の問題を軽く扱うのではなく、人を最終的な敵と見なさない
　―人の言葉に傷つき、憎しみや決めつけに心を支配されることがある
　―相手の問題を正す必要がある場合にも、憎しみにとらわれない
・荒野の誘惑：誘惑する者の言葉に従わず、神のことばに立ったイエス

▶人を責めることに心を奪われず、神のことばに立ち返ることです。

【3】キリストの勝利に立つ

・繰り返される「立つ」ということば（エペソ 6:11,13）
　―悪しき力に屈せず信仰に堅く立つ
　―自分の力ではではなく神の武具によって立つ
・「邪悪な日」：今の時代に悪しき力が働く現実と終わりの時の厳しい戦い
・私たちが堅く立てる理由：
　① 神が私たちを**「キリストとともによみがえらせ、ともに天上に座らせて」(2:6)**くださった
　② キリストが成し遂げてくださった救いに恵みによってあずかっている
　③ 決定的な勝利：死に打ち勝ちよみがえられたキリスト

▶ キリストの勝利にあずかる者として、今日も主にあって強くされ、歩んでいきましょう。